

令和8年度一般選抜（C日程）における小論文出題意図

国際地域学部

1. 小論文問題作成の基本的な考え方について

新潟県立大学国際地域学部国際地域学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせて、本学科での学修にあたって欠かせない資質が総合的に備わっているかどうかを確認するための出題である。具体的には知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性が発揮されることを期待している。

2. 試験問題の内容および意図について

（内容）

人種差別の発生から近年の状況まで、近・現代史における変遷を概説し、現代の私たちが人種差別とどのように向き合うべきかを考えるための手がかりを与える書物の、序章の部分から出題している。本書の中心となっているのは、大航海時代から植民地支配に至る歴史であるが、序章と終章においては、この歴史をふまえて日本の状況を考える姿勢も語られている。

（意図）

著者の基本的な立場は、「人間の種（しゅ）は一つ」であり、「人種はない」というものである。出題部分において、この立場は丁寧に説明されているが、「人種の違い」の存在を自明のものと考えることに慣れている人にとっては、逆説的とも見えるであろう。与えられた文章を読んでこの立場の理解に至る読解力を持ち得ているかどうかをまず問われる。さらに、この著者の立場に立脚して説得力のある主張を構築することを求め、どのような思考力・表現力を有しているかを問うている。